

新型コロナウイルス感染症

本県の今後の対応

令和3年6月3日

今後の対応

県内の感染状況を踏まえ、感染拡大警報から

「福井県感染拡大注意報」に引下げ

警報 5月21日（金）から6月3日（木）まで

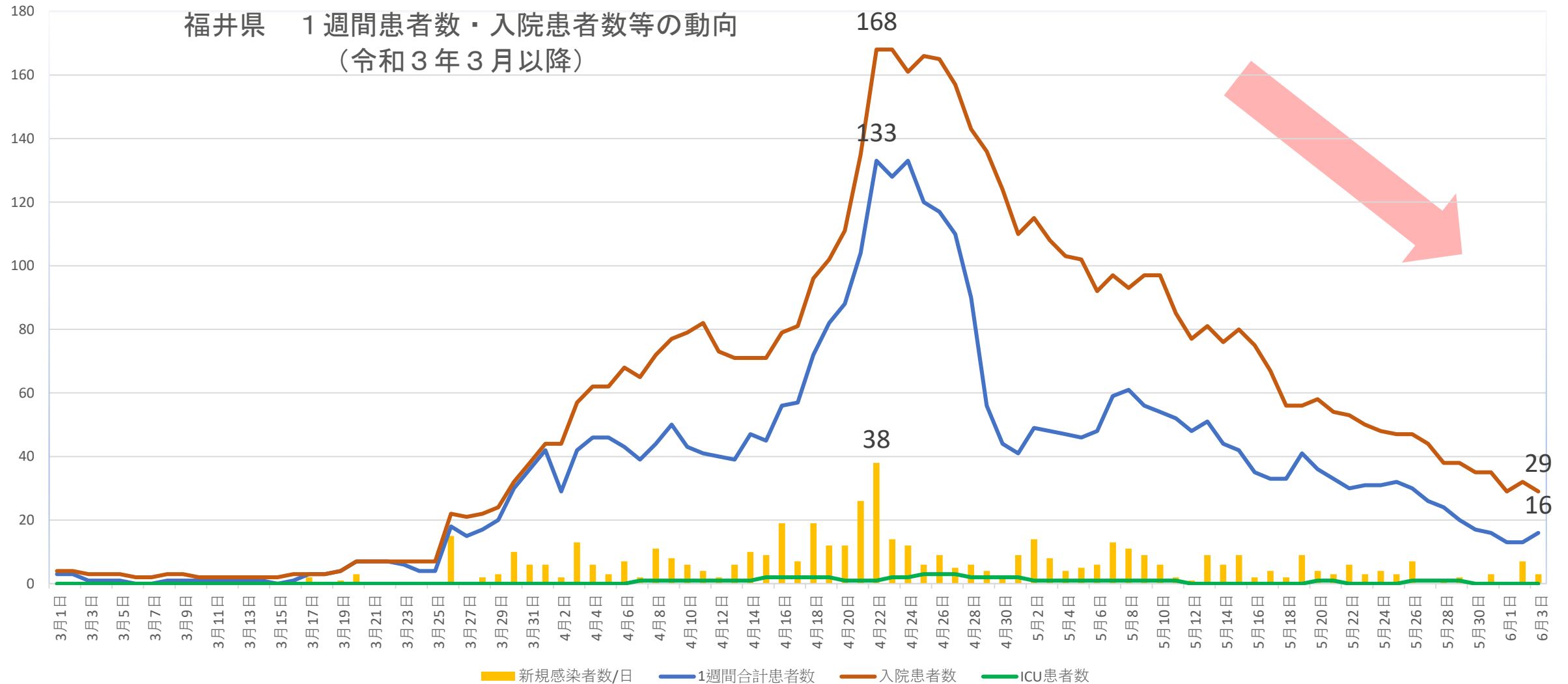
注意報 6月4日（金）から6月18日（金）まで

※今後感染状況に応じて変更の可能性あり

		現状 (6/3)	－ 注意報	ステージⅠ 警報	ステージⅡ 特別警報	ステージⅢ 緊急事態	
病床のひっ迫具合							
医療提供体制	病床全体	現時点確保病床数 (295床)の占有率	9.8% (29床)	10%程度 (29～39床)	20%程度 (58～68床)	20%程度 (58～68床)	25%以上 (73床)
	うちICU	現時点確保病床数(24床)の占有率	0.0% (0床)	10%以上 (3床)	20%以上 (5床)	20%以上 (5床)	25%以上 (6床)
感染の状況	直近1週間の新規感染者数 (人口10万人あたり1週間の新規感染者数)		16人 (2.0人)	概ね10人～20人 (1.2人～2.5人)	概ね30人～40人 (3.8人～5.1人)	概ね60人～80人 (7.6人～10.2人)	115人以上 (15人)

感染の状況

・新規感染者数、入院患者数ともに減少



把握したエビデンス① マスクなしの感染

○ 4～5月の感染事例のうちマスクなしでの感染が83%超

【4～5月：全451事例の分析】

マスクの有無	家庭の内外	飲食の有無		事例数	割合
マスクなし (83.1%)	家庭内 (39.0%)	飲食あり		176例	39.0%
	家庭外 (44.1%)	飲食あり (23.8%)	飲食店	91例	20.2%
			職場	12例	2.7%
			学校	4例	0.9%
		飲食なし (20.3%)	職場	28例	6.2%
			学校	39例	8.6%
			病院・施設	23例	5.1%
その他	2例	0.4%			
マスクあり・詳細不明 (16.9%)				76例	16.9%
			合計	451例	100.0%

把握したエビデンス② 感染経路の不明率／県外由来率

○感染経路不明率（本県・全国）

福井県（第1波～R3.5.31）	3.0%	（現在調査中の事例を除く ：31/1032人）
全国（R3.5.15～5.21：直近1週間）	50.3%	（厚生労働省公表値）

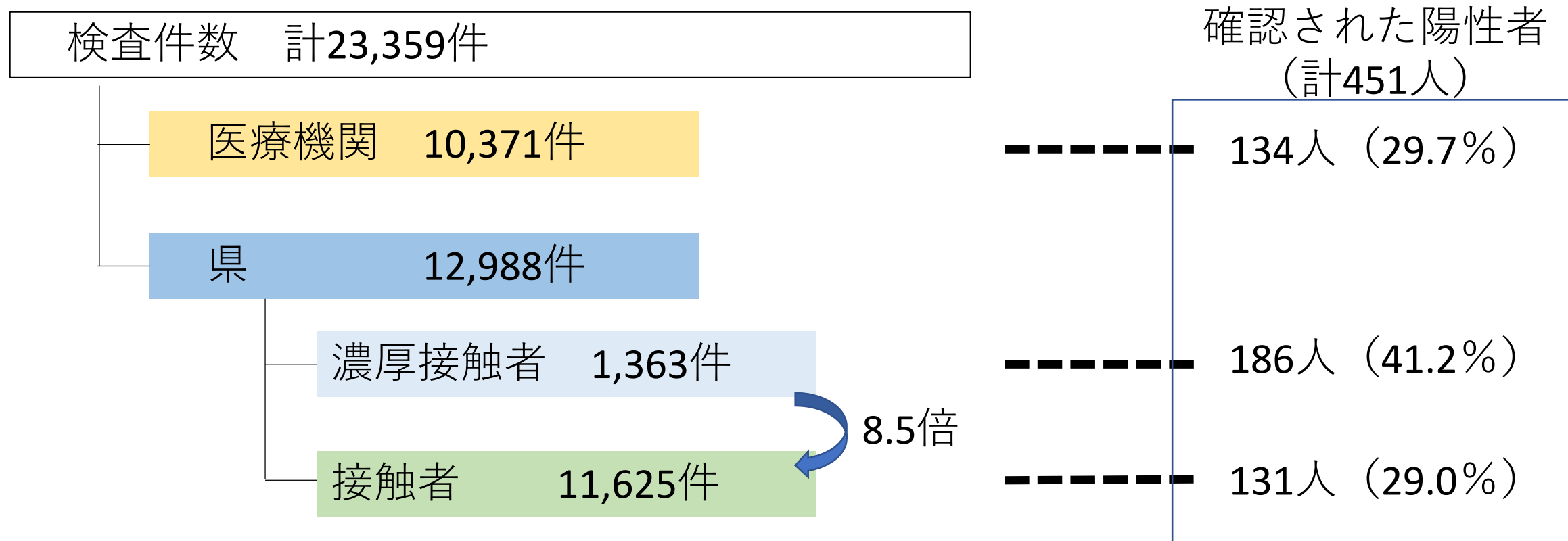
○県外由来の感染の割合

系統の割合	97.9% (R3.3～5月末)	（感染経路が特定（推定）された 系統のうち県外由来のもの ：94/96系統）
全陽性者に占める割合	91.8% (R3.4～5月末)	（陽性者のうち県外由来系統の 関連者：414/451人）

把握したエビデンス③ 幅広い検査の効果

○幅広い検査の結果、陽性者の約30%は濃厚接触者以外から判明

【4～5月の検査数・陽性者の内訳】



把握したエビデンス④ 変異株の特徴

- 「若い年代」「強い感染力」「短い日数」の特徴を継続
- 重症化率は 早めの医療により徐々に低下

特徴	第4期 (R3.3.1~5.31)	第3期
若い年代	20代以下 37.4%	20代以下 27.2%
強い感染力	3.4人 に1人が他者へ感染	5人に1人が他者へ感染
短い日数	発症日までの日数 3.0日	発症日までの日数 4.0~5.0日
重症化率	4.2% 〔変異株 3.8%〕 〔従来株 5.9%〕	5.6% 〔第1期 18.9%〕 〔第2期 7.4%〕

福井県感染拡大注意報のポイント

○「おはなしはマスク」の徹底 継続

- ・ 会話時のマスク着用を徹底



○県をまたぐ移動は慎重に判断 緩和

- ・ 緊急事態宣言対象地域・まん延防止等重点措置実施地域との往来は控える
- ・ その他の地域との往来は、感染状況を十分把握し、慎重に判断

○5人以上の会食はテーブルを分けて 緩和

- ・ 会食時は、マスク会食・短時間・換気・などの感染対策を徹底
 - ※ 「会食は4人以下」の制限を解除
(ただし、テーブル間の移動やコップの使いまわし等は控える)
 - ※ 「マスク会食チャレンジ」のインスタ投稿を募集開始 (6/3～)

○迷わず医療機関へ 継続

対策① 県新型コロナウイルスワクチン接種センターの開始

○6月12日（土）から予約受付開始

方 法：WEB予約（1、2回目を同時に予約）

対 象：市町から接種券が発行されている方（1回目接種済の方は対象外）

○6月19日（土）から接種開始

場 所 ①エルパプラス（3階） 毎週土・日曜日

②県民健康センター 6/26・27、7/24・25（計4日）

（接種時間等の詳細は後日公表）

接種回数 1日最大300回／各会場 ※①の会場は今後回数増の可能性あり

その他 ・モデルナ社製ワクチンを使用（1回目と2回目の間隔は4週間）

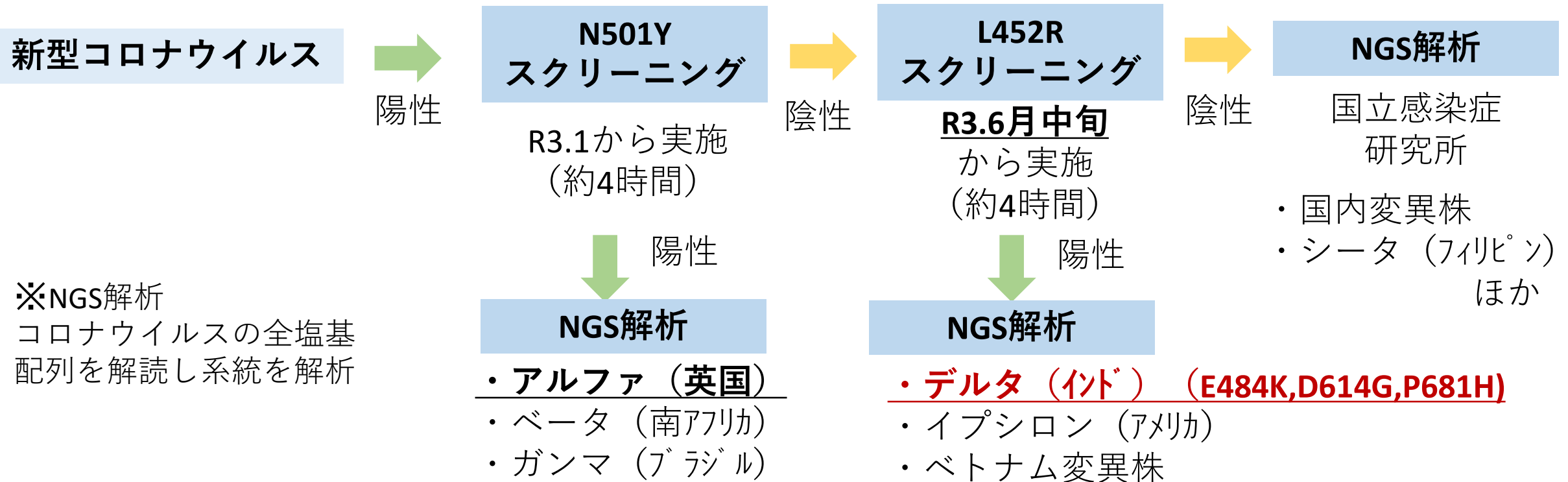
・キャンセルが出た場合は、当該会場の従事者等に接種

対策② 変異株スクリーニング

○ 6月中旬以降、デルタ株のスクリーニングを県で実施

※現在は国立感染症研究所に検体を送付し解析（所要時間：2週間～1か月）

（参考）変異株検査のながれ



対策③ 飲食店の認証基準を公表

- ・ 現地確認に向け、認証基準をHPにおいて公表（6/3～）
- ・ 飲食店に再徹底を促したうえで、6月中旬以降、現地確認を実施
- ・ 認証店に、奨励金（10万円）を支給

（参考）認証基準（抜粋） すべての項目を満たす必要あり

	項目	内容
重要項目	入店時の消毒	入店時の消毒設備の設置、手指消毒の呼びかけ
	マスク会食	マスク会食ポスター掲示、注文時など利用客に対する積極的な呼びかけ
	テーブルの配置	別グループのテーブル間は1mあける or パーティション等で遮蔽
	換気	機械換気（空調等）や窓の開放などによる適切な換気
その他	密な状況の回避	順番待ちなどが生じる場合は、対人距離を最低1m以上確保
	BGMの音量	BGMの音量を低くし、大声で会話しないように注意喚起
	従業員の休憩	従業員の休憩室を一度に利用する人数を減らし、対面での食事を避ける

評価指標の見直し等

○評価指標の見直し

(現状) 国分科会が示す指標 (ステージ3・4) に合わせ設定

(課題) 分科会は入院率導入・ステージ3の病床利用率を見直し(25%→20%)
陽性者を原則入院としている本県の実情に合わなくなっている。

(対応) 県独自緊急事態宣言など、これまでの対応を踏まえ、指標を見直し

○新型コロナ対応病床を拡充 (6/4~)

医療機関	2 9 5 床	→	3 0 4 床
宿泊療養	1 4 5 床	→	1 4 6 床
計	4 4 0 床	→	4 5 0 床

評価指標（6月4日から適用）

			県独自			国分科会	
			—	ステージⅠ相当	ステージⅡ相当	ステージⅢ相当	ステージⅣ
			注意報	警報	特別警報	緊急事態	参考
医療提供体制	病床全体	現状 (295床の占有率)	10%程度 (29～39床)	20%程度 (58～68床)	20%程度 (58～68床)	25%以上 (73床)	50%以上 (147床)
		見直し後 (304床の占有率)	15%程度 (40～50床)	20%程度 (60～70床)	30%程度 (80～90床)	35%程度 (100～110床)	—
	うち I C U	現状 (24床の占有率)	10%以上 (3床)	20%以上 (5床)	20%以上 (5床)	25%以上 (6床)	50%以上 (12床)
		見直し後 (24床の占有率)	15%程度 (4床)	20%程度 (5床)	30%程度 (7床)	35%程度 (8床)	—
感染状況	直近1週間の新規感染者数 (人口10万人あたり)		概ね10人～20人 (1.2人～2.5人)	概ね30人～40人 (3.8人～5.1人)	概ね60人～80人 (7.6人～10.2人)	115人以上 (15人)	192人以上 (25人)